



プラ容器に異物を入れないで！！

野木町ではプラ容器の分別収集を行い、収集されたプラ容器は南赤塚にある南部清掃センターへ運搬され、選別・圧縮梱包し、再商品化事業者へ引き渡して再利用しております。

先日、加熱式タバコの器具がプラ容器に混入し、再商品化工場で破碎処理後、加熱し写真のように焦げました。幸い負傷や火災には至らなかったものの、処理工程が停止してしまったとのこと。

加熱式タバコの器具をごみとして出すときは、不燃ごみとして透明または白色半透明の袋に入れ、加熱式タバコと表示してください。



プラ容器に混入していた加熱式タバコ

プラ容器の正しい排出方法

ここで改めてプラ容器の正しい排出方法のお願いです。
正しい分別を改めて身につけて、資源の有効利用にご協力ください。

💡 プラ容器(プラスチック容器包装)の定義

- ・プラ容器とは、商品の中身を取り出したり食べたりして不要となったプラスチック製の容器や、包装のことです。
- ・目印として、プラ容器に該当するほとんどの物に、プラマークがついています。



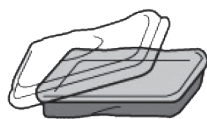
💡 プラ容器の排出方法

- ・プラ容器は、プラスチック製品の原料や燃料として再利用するため、汚れが付着している物は、水でゆすぐなどしてから透明または白色半透明の袋に入れて、集積所に出してください。
- ・汚れている(汚れが落としにくい)プラ容器は、「可燃ごみ」で出してください。

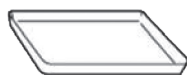
📝 プラ容器の例



ペットボトルのラベル・キャップ



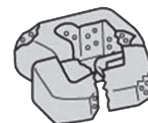
お惣菜等の容器



肉や魚等のトレイ



洗剤等のボトル



発泡スチロール緩衝材

出典:経済産業省ウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html>
(経済産業省ウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html>を加工して作成)